

2学年研修旅行 SOUTH 探究プロジェクト 東京大学 鈴木寛先生特別講演

・講演の概要 令和6年7月31日(水)

2学年は7/30(火)~31(水)に東京方面へ研修旅行に行ってきました。2日目の研修では、東京大学本郷キャンパス(福武ホール)を訪問し、鈴木寛教授の特別講演会に参加させていただきました。

先生は、高校時代にサッカーに情熱を注ぎ文武両道を体現されていたこと、また大学時代にはミュージカルやバンド等の音楽活動も熱心にされていたこと等に触れ、若いうちに好奇心をもって好きなことに全力で取り組むことの大切さを語られました。

また、大学卒業後は通商産業省に入省され、山口県庁出向中に松下村塾に通うことで、若者のパワーが確実に世の中を変えるということを痛感されたこと、そして「現代の松下村塾」とも呼ばれる「すずかんゼミ」を立ち上げ、1,000名を超えるゼミの教え子を世に送り出し、その中の多くの若者が政治・経済等多方面で活躍されているといったお話も伺いました。人材育成に注力される傍ら、文部科学副大臣(2期)・文部科学大臣補佐官(4期)を務められ、その間の教育予算増・高校無償化・東日本大震災復興・ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック誘致・大学入試改革・学習指導要領改訂等の数々の功績についてご紹介いただきました。

そのような輝かしい経歴をお持ちでありながら、全く堅苦しくなく、明るくフレンドリーな物腰で、随所にユーモアを交えながら、若者の目線に立って生徒たちに熱い思いを伝えてくださいました。

「“好き”を極めよう」「十代の若者の力は無限」「心のエンジンを駆動させよう」「遠くでも、近くでもいい、とにかく旅をしよう」「わくわくする体験をしよう」「まずはトライしてみよう」..このような、心に強く残るメッセージを次々に届けていただきました。生徒たちは大いに刺激を受け、「もう少し頑張ってみよう」という動機、「自分たちにもきっと何かできる」という自信を授けていただきました。

講演後には、目を輝かせて積極的に先生に質問をしたり、握手やサインを求めたりする生徒たちの姿が見られ、それこそが彼らの心に深い感動を与えていただいた何よりの証であったと思います。このような貴重な機会を与えていただき、鈴木先生をはじめ、関係各位にあらためて厚くお礼を申し上げます。

なおこの講演会は三菱みらい育成財団の後援を受けて実施され、財団より常務理事 妹背正雄様を来賓としてお迎えしています。

・生徒の感想(3名分)

「15歳までの能力差なんて、ほんの誤差。そこからどれだけ、好きなことに情熱を注げるかで私たちの可能性は大きく変わってくる！」鈴木先生はそう教えてくださいました。私が10年以上もかけて探究し続けたいと思えるものってなんだろうか。それは意外とすぐ近くにあるかもしれない。高校生という、かけがえのない時間を無駄にせず、自分の可能性を広げる挑戦をしようと思いました！初めは自己満足なものかもしれないけど、いつかそれが、自分の大切な人のためにもなったらいいなと思います。

鈴木教授の講演は、私たちの好奇心を掻き立てるもので、新たなことに挑戦したいというマインドを与えてくださいました。一見、解決するのが困難に思える課題に対して、仲間と協力して取り組むという、これから新しい社会を切り開く私たちに必要な能力を身につける方法を学ぶことができました。今回の講演で学んだことを燃料とし、心のエンジンを駆動させ、鈴木教授のように新たなものを社会に送り出したいと思いました。

「心のエンジンを駆動する」という言葉が最も印象に残っています。私はそのエンジンを動かすガソリンは、「好き」という純粋な気持ちだと感じました。そして様々な経歴をお持ちのすずかん先生は、これまでの経験全てがエンジンのカスタムパーツになり、より強固な駆動を生んでおられるのだと思いました。

自分が持つ素質に気づけない時にも、多面的な視点をくれる友人の存在が頼りになるという先生の教を胸に一期一会の縁を大切に、今後も頑張っていきたいです。



- の進歩を受けて起こるものである。この欲がなければ働かぬというものは、……
- 良心
 - 良心は欲を制御し、その方向を正しく、その限界を定める。欲というものは限りがないもので、……欲と道理を見分けて、欲を理に伏せさせるのが良心である。
 - 意志
 - 意志によって事をなそうという気持ちがわくのだ。世の中のことは偶然でできうるものはない。よいことも悪いことも、すべて人間による意志があつてできることなのだ。
 - 独立
 - 人間の五つの性質を自由意志に操ることで個人の独立が達成できる。……五つの力を使うにあたって、天が定めた法にしたがって行動しないようにすることが肝心だ。

• 「読書は学問の術なり。学問は事をなすの術なり。実地に接して事に慎み非ざれば決して勇力を生ず可からず。」(福澤諭吉)

